学校番号	１００１

令和５年度　　家庭科

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	フードデザイン　新訂版（実教出版）						
副教材等	カラーガイド食品成分表（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業や実習から得られた知識を、実生活で活用できる力を身につけることができます。健康的な食生活を営むために、日頃から食品の性質や食生活に関心を持ち、よりよい生活につながる食生活を実践できるよう、意欲的に授業に望んでください。

2　学習の到達目標

・食生活に関する知識（栄養、衛生、食品、調理、テーブルコーディネート）と技術を習得させ、それらを総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。
・実習を通して、基本的操作を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	食生活に関する諸問題に関心をもち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。	食生活を総合的に捉えて計画・実践するために課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現しようとしている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する基本的な知識を身に付けている。
評価方法	生徒観察 レポート 学習プリント	生徒観察 学習プリント レポート プレゼンテーション 定期考査	生徒観察 実習レポート 調理実習 定期考査	生徒観察 実習レポート 学習プリント 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4・5月	調理の基本	・調理の目的 ・調理操作	○	○ ○		○ ○	a:食品、栄養、安全、嗜好などに関心を持ち、調理を科学的に捉え、調理の目的を考えようとしている。 b:食品の素材や調理方法にあった、基本的操作に関する考えを深めている。 d:調理の目的にあった正しい調理法や調理器具の扱い方に関する知識を身に付けている。	生徒観察 学習プリント 小テスト 定期考査
6・7月	食品の特徴・安全	・食品の特徴と性質 ・食品の衛生と安全	○ ○	○ ○		○ ○	a:食品の特性を学び、安全で衛生的な食生活を営む能力を身に付けている。 b:食品衛生に関する具体的な事例を通して、食生活の安全について考察を深めている。 d:食品の衛生面かつ安全性に関する知識を身に付けている。	生徒観察 学習プリント 小テスト 定期考査
8・9・10・11月	栄養素のはたらき	・栄養素の種類とはたらき ・食品の性質	○			○	a:栄養素の概念と栄養素の機能について学び、人体と栄養素の関わりについて関心を持ち、学習に取り組もうとしている。 d:栄養素の種類と意義や役割に関する知識を身に付けている。 食品の性質とその栄養、調理法に関する知識を身につけている。	生徒観察 学習プリント 小テスト 定期考査

10 ・ 11 ・ 12 月	料理様式とテーブルコーディネート	・料理様式 ・テーブルコーディネート ・和食文化	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:食事空間のデザイン、食の文化的な意義について学び、意欲を持って学習活動に取り組んでいる。 b:よりよい食事空間を目指し、料理様式やＴＰＯにあったテーブルコーディネートを考えデザインし表現できる。 c:食事にふさわしい食卓の整え方を身に付ける。 d:各様式の特徴を理解し、食事にふさわしい食卓の整え方に関する知識を身に付けている。	生徒観察 学習プリント 小テスト 定期考査
5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 月	調理実習	・様式別の献立と調理 （和風献立、洋風献立、 中国風献立、行事食　など）	○	○	○	○	a:様式別の献立と調理方法を学び、その特性と献立構成に関心を持ち、積極的に調理と献立作成に取り組もうとする意欲、態度を身に付けている。 b:健康の維持、増進に寄与するために、創造的に調理・献立作成に関わる能力を身に付けている。 c:調理に必要な技術を身に付けている。 d:調理の基礎、設備、熱源および機器、献立と調理に関する知識を身に付けている。	生徒観察 学習プリント 調理実習 実習プリント レポート プレゼンテーション 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。